

2020年8月31日

北海道知事 鈴木直道 様  
石狩湾新港管理組合管理者 鈴木直道 様

### 石狩湾洋上風車建設反対道民連絡会

共同代表：安田秀子（石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会）

後藤言行（銭函海岸の自然を守る会）

在田一則（一般社団法人 北海道自然保護協会）

事務所：〒061-3211 石狩市花川北1条5丁目307

電話:090-6211-1602

### 石狩湾新港洋上風力発電事業の中止を求める要望書

石狩湾新港洋上風力発電事業は、合同会社グリーンパワー石狩（中心事業者：株式会社グリーンパワーインベストメント）が2020年着工を目指し、単機出力8,000kW・14基（総出力約10万kW）を進めている計画です。本事業は準備書において、単機出力4,000kW・26基（総出力10.4万kW）の計画でしたが、評価書において、単機出力が2倍に変更されました。本年2月4日に環境影響評価書が確定され、評価書は7月1～31日に縦覧されました。予定されていた事業説明会は、新型コロナウイルス感染防止のため中止となり、説明会資料を事業者HP上で公開し、それに対する質問を手紙とメールで受け付け、回答が8月23日から事業者HP上で公開されおり、再度の質問を9月4日まで受け付けることになっています。

評価書と8月23日に公開になった説明会資料への質問に対する回答は、さらなる不信感を深めるものになっています。市民・道民が意見を言えない評価書段階で、環境への影響での大きな要素である単機出力が4,000kWから8,000kWへと2倍にもなったにもかかわらず、対面での工事説明会を開催しないということは許されないことであり、以下の理由から私達は石狩湾新港洋上風力発電事業の中止を強く求めます。

#### 理由1 健康影響が大いに懸念されます。私たちはモルモットではありません！

風車からの騒音、低周波・超低周波音等は睡眠障害等、多様な健康影響の原因になります。石狩湾周辺は新港工業団地就労者15,000人を始めとし、石狩市、小樽市、札幌市手稲区・北区等の数十万人が暮らす人口密集地が隣接しており、既に稼働中の大型風車群との累積影響により数千人に症状が出るとの、研究者の予想もされておりました。

評価書から、風車からの騒音（耳に聞こえる音）による住宅地への影響は、当事業による寄与分は小さいものの、既設3,000kW級19基との累積影響を見ると、生活環境保全のための国の指針値35dBラインは石狩市役所あたりで、これより海側はこれを超えるエリアとなり、生活環境に何らか

の支障がでる可能性があります。また、健康影響との関連で注目すべき低周波音については、環境省の「心身の苦情に関わる参照値」の80Hz・41dBについて見ると、当事業による寄与分はすでに1～数dB超過しており、累積影響では他3事業により数dB～10数dB増加します。41dBラインは海岸より約11km余り内陸にあり、このラインより海側では入眠時に気になる人が10%以上になるということを示しています。石狩市、小樽市、札幌市の手稲区・西区・北区が含まれています。

このような結果について、事業者は、「本事業による累積影響の増加分は小さいので、本事業による影響は小さいと考えております」と回答しており、あくまでも自社の影響分は少ないので、累積影響そのものが住民にとって問題になる値であったとしても、責任はないという態度を示しています。環境アセスで重要な事後調査についても不確実性が小さいので実施しないとの回答で、責任回避しようとしている事業者の姿が浮き彫りになり、住民として、今後、防衛策を講じる必要性を痛感しているところです。累積影響の評価の仕方と責任の取り方については、環境アセス法の中でも規定を作る必要があると思います。

低周波音成分に注目した研究者の健康影響リスク評価では、石狩湾新港工業団地内就労者の58人に頭痛、13人にめまい、石狩市・小樽市・札幌市住民の5,000人に圧迫感・振動感が生じるという結果となっています。また、環境省参照値（80Hz）に注目した場合、入眠時に「気になる」住民は12万人以上となります。

市民・道民としては、このような予測結果が出ている以上、この事業は止めていただきたいと強く思います。

## **理由2 景観が台無し！ 失われる海辺の自然の風景、日本海に沈む夕陽の光景**

札幌テレビ塔の1.3倍の高さの風車群により、大勢の札幌市民も訪れる石狩市や小樽市の海水浴場からは海辺の自然の風景や日本海に沈む夕陽を楽しむことができなくなり、観光資源を失うこととなります。石狩市等の住宅地では無機質な巨大風車を毎日見ながらの生活を送ることになります。

## **理由3 天然記念物オジロワシのバードストライクはあってはならない！**

周辺の海岸草原や海岸林、砂浜、沿岸を利用する、希少種を含む多くの野鳥が観察されており、影響は必至です。既設大型風車との累積影響も大問題です。海鳥のための重要な海域も存在しています。

## **理由4 海の自然への影響が心配！**

石狩湾には環境省が抽出した「生物多様性の観点から重要度が高い海域」が広く分布します。海流や漂砂への影響が砂浜の侵食や海の生態系へ及ぶことが懸念されます。

## **理由5 漁業への影響はもっと心配！ サケ、ニシン、シャコ、カレイ、ホッキは大丈夫？**

工事中に発生する汚泥やブレードの回転などに伴う振動が、海中や海底の魚類や貝類などの水産資源に影響を及ぼさないという科学的根拠はありません。